

保存版

川東町防災マップ

～みんなで災害にそなえよう～



写真提供：濱砂さん

川東町自治会自主防災会

川東町住民の皆様へ

災害はいつ起こるか分かりません。

想定外の災害、何十年に一度の災害と最近よく耳にしますが、実際このような規模の災害はすでに身近なものとなっており、線状降水帯による短時間での局地的な大雨や台風は各地で甚大な被害をもたらしています。地震では広範囲に大きな被害が想定されている南海トラフ地震も数十年以内に起こると言われています。

日頃からどのような備えをすべきなのかなど、災害に際して自分の身は自分で守ることはもちろん、家族の安全も守れるといった、命を守る行動をとる手助けができるよう、地区防災計画として川東町防災マップを作成しました。

本誌が皆様のお役に立てれば、幸いです。

令和5年4月

川東町自治会自主防災会からのおねがい

災害から身を守るためには事前の準備がポイントになります。

そのため、まずは冊子を見てしっかり勉強してください。

その次に以下の3つの避難に関する対策を実施するようにお願いします。

- マンションではマンション独自で避難訓練を実施してください。
- 各家庭でも避難場所を決めておいたり、立ち退き避難する際に伝言を残し、避難場所にいけば家族に会えるようにしてください。
- 避難する際はできるだけ複数人で避難するようにしてください。



もくじ



避難先の考え方について P 1

想定される地震・津波について

1. 南海トラフ地震の想定 P 2
2. 地震発生時に命を守る基本行動 P 2
3. 南海トラフ地震での川東町の津波浸水想定 P 3
4. 津波から命を守る3つの避難行動 P 4

想定される風水害（雨・風による災害）について

1. 想定最大規模の降雨による夙川の洪水浸水想定 P 5
2. 洪水からの避難行動 P 6
3. 想定最大規模の台風による高潮浸水想定 P 7
4. 高潮からの避難行動 P 8

防災コラム～避難のポイント～ P 9

日頃の備えについて

1. 家具の転倒防止対策や配置の工夫 P10
2. 地震発生時の出火防止対策 P10
3. 備蓄品の準備 P11
4. 非常持出品の準備 P12
5. 情報収集手段の確認 P13

川東町の防災体制

1. 災害時の活動 P14
2. 地域の井戸 P15
3. 地域の防災倉庫 P16



マイ避難プラン・いざという時の連絡先 背表紙

避難先の考え方について

次ページから各災害について、またその災害から身を守るための備えや避難行動について掲載していきます。その前に避難先の候補やポイントを知ること、次ページ以降の避難先を考えやすくなります。



自宅

自宅が安全なら無理に避難する必要はありません。

- ① 事前の災害リスクの確認
- ② 事前の7日分の備蓄品の準備



親戚・知人宅・ホテル

安全な場所にある親戚・知人宅・ホテルは見知らぬ人と避難生活を送るよりも、安心して過ごすことができますし、感染防止の観点からも良いとされています。

- ① 事前に避難させてもらえるか相談しておく
- ② 事前に避難できそうなホテルを探しておく



津波避難ビル

身の安全を守るための**一時的な避難先**となります。また、津波だけではなく、洪水や高潮からの避難でも利用することができます。(警戒レベル4、避難指示以上)

- ① 災害の危険が収まれば、自宅や避難所など別の場所へ移動する必要がある



避難所

地震等の被害が甚大な場合(大災害時)は、原則すべての避難所が開設され、**長期的な避難生活を送ることができます。**

また、一部の避難所は、台風接近時等に、一時的に開設される場合もあります。

- ① 長期的な避難生活を送る場合は、避難者全員が協力して避難所の運営を行う
- ② 台風接近時等は、開設状況を確認してから避難

近くの避難所

※避難所が一時的開設される場合は原則、浜脇小学校が最初に開設されます。

避難所	長期的開設 (被害が甚大な場合)	一時的開設 (台風接近時等)	津波避難ビル	AED	ペット
浜脇小学校	○	○			○
香櫨園小学校	○	○			○
県立西宮香風高等学校	○	○			○
浜脇中学校	○				○
教育文化センター	○				×
市庭市民館	○				○
夙東市民館	○				○
香櫨園市民センター	○				○

※近くの避難所以外の開設されている避難所に避難することもできます。

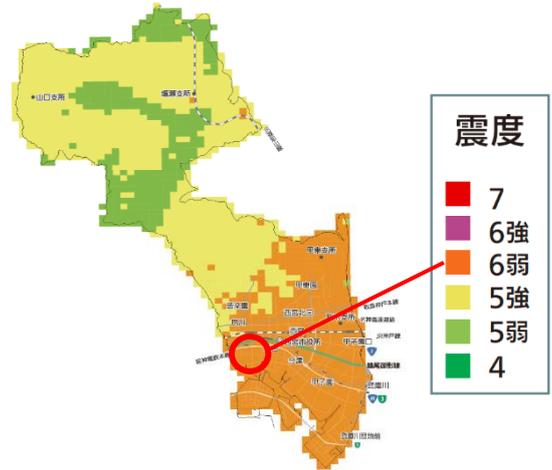
※人とペットの避難スペースは別(原則屋外)になります。

想定される地震・津波について

1. 南海トラフ地震の想定

今後30年以内に発生する確率は、
70~80%と予想されています。
また、震度は6弱が想定されています。

※南海トラフ地震ほどの発生確率ではないですが、
最大震度7の直下型地震も想定されています。



2. 地震発生時に 命を守る基本行動



屋内にいる場合

- 大型家具からなるべく離れる。
- 揺れが収まったら、戸やドアを開けて逃げ道を確保。
- 慌てて外に飛び出さない。
- エレベーターは使わない。もし乗っていたら階数ボタンを全部押し、停止した階で降りる。



屋外にいる場合

- ブロック塀や石塀、電柱や自動販売機などから離れる。
- カバンなどで頭を保護し、できるだけ建物から離れる。
- 切れた電線には絶対に触らない。



車を運転中の場合

- 徐々にスピードを緩め、道路の左側に停車する。
- 揺れが収まるまでは慌てて車外に出ず、ラジオなどで地震情報を得る。
- 車から離れるときはドアをロックせず、キーはつけたままにする。(エンジンは切る)

動画で詳しく学べます！
「3分で分かる2種類の地震」



動画で詳しく学べます！
「地震発生から生き延びるコツ」

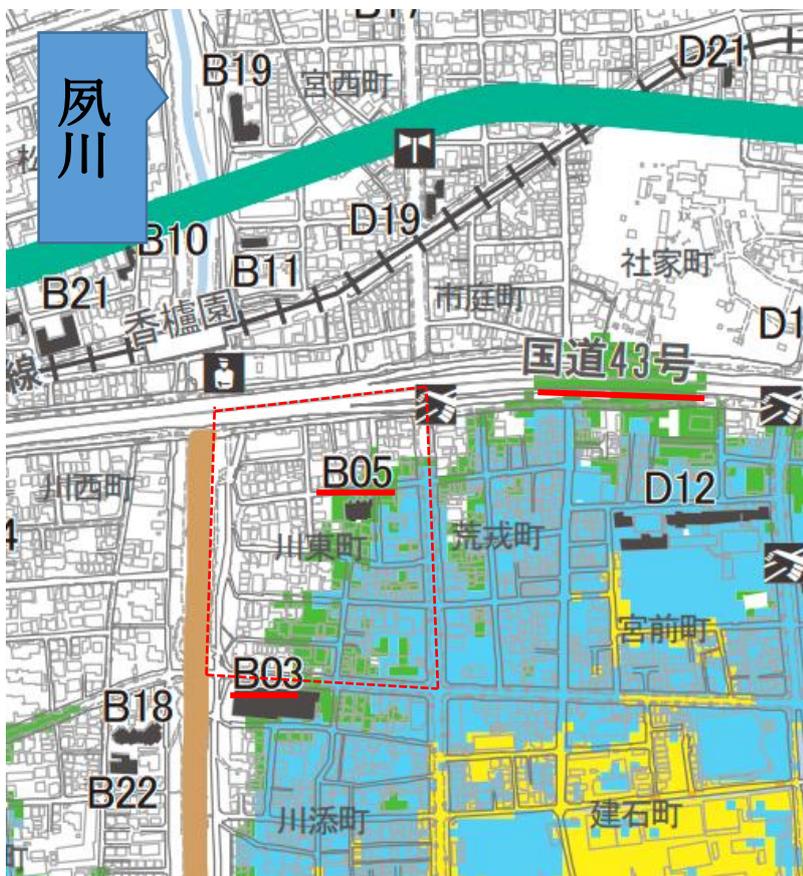


3.南海トラフ地震での川東町の津波浸水想定

112分後に
1mの波が到達

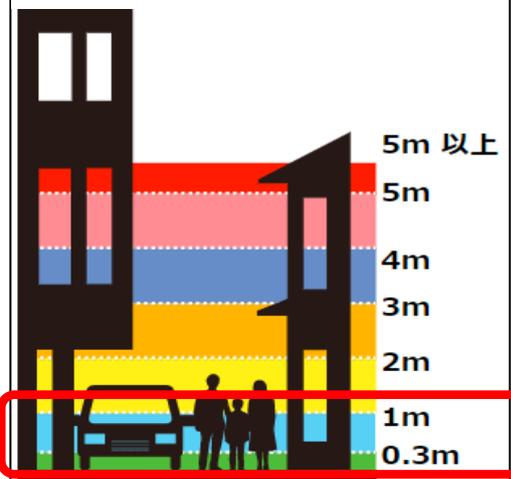
当地域は、およそ1mまでの浸水が想定されています。

地震発生から112分後に西宮市に津波が到達する想定ですので、
落ち着いて避難行動を取るようにしましょう。



鳴尾御影線（避難目標）

予想される津波の浸水深



西宮市防災マップ 津波ハザードマップ全市域版より抜粋

近くの津波避難ビル

B03	教育文化センター
B05	ファミリー香栢園



避難可能人数（R4年12月現在）

970人

50人

4.津波から命を守る3つの避難行動

自分がいる場所・状況に応じた避難方法を選択しましょう！

水平 避難

鳴尾御影線より北側へ避難する

津波が到達しないと想定されている場所（避難対象地域外）まで、徒歩または自転車で避難する。

川東町近辺では阪神電車より北の道路です



垂直 避難

津波避難ビルなどの“3階以上”へ避難する

津波避難ビルや鉄筋コンクリート造などの建物の3階以上へ、一時的に避難する。



自宅等 待避

鉄筋コンクリート造などの“3階以上”に居る場合は、その場にとどまる。

地震による建物の損傷・火災や周辺の火災がないなど、その建物の安全が確認できた場合は、その場にとどまる。



川東町の基本的な避難の考え方（津波警報や避難指示が出た場合）

- ①水平避難できる方は、鳴尾御影線より北へ避難
- ②教育文化センター、ファミリー香栞園等、近くの津波避難ビルの3階以上へ
- ③すでに堅牢な建物の3階以上にいる場合は、その場にとどまる

まずは命を守るための避難行動をとるようにしましょう。

動画で詳しく学べます！

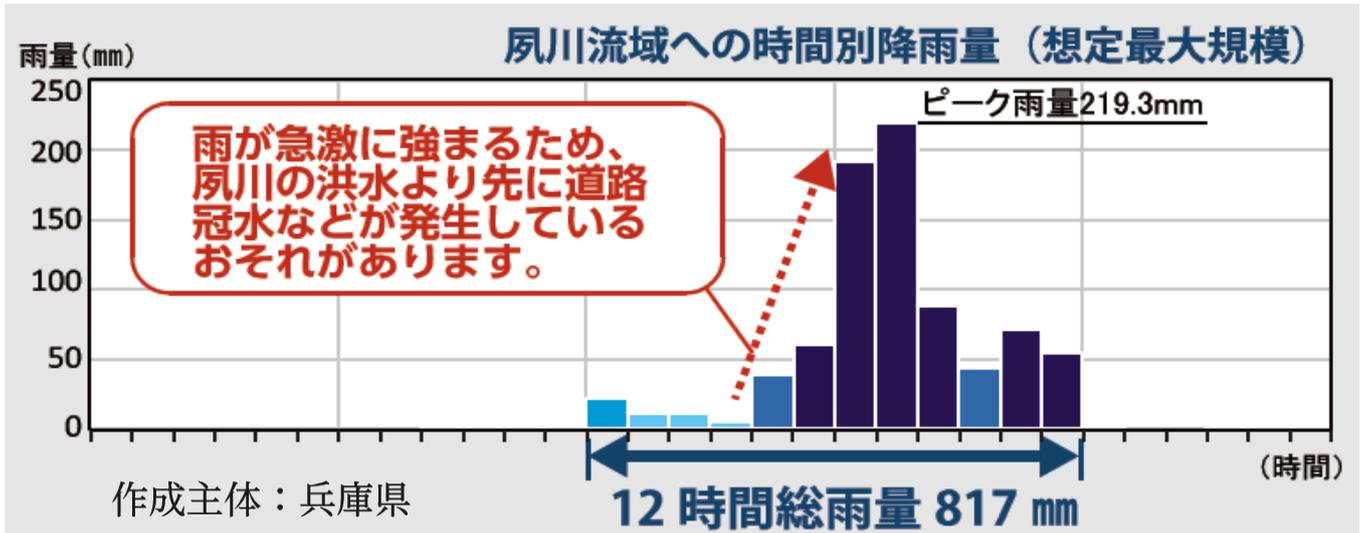
「3分で分かる 津波から命を守る3つの行動」



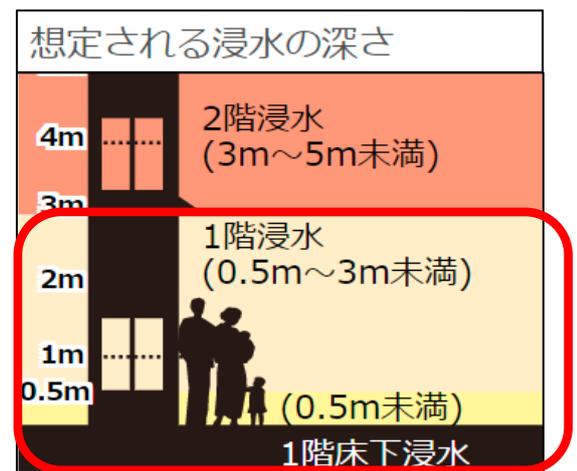
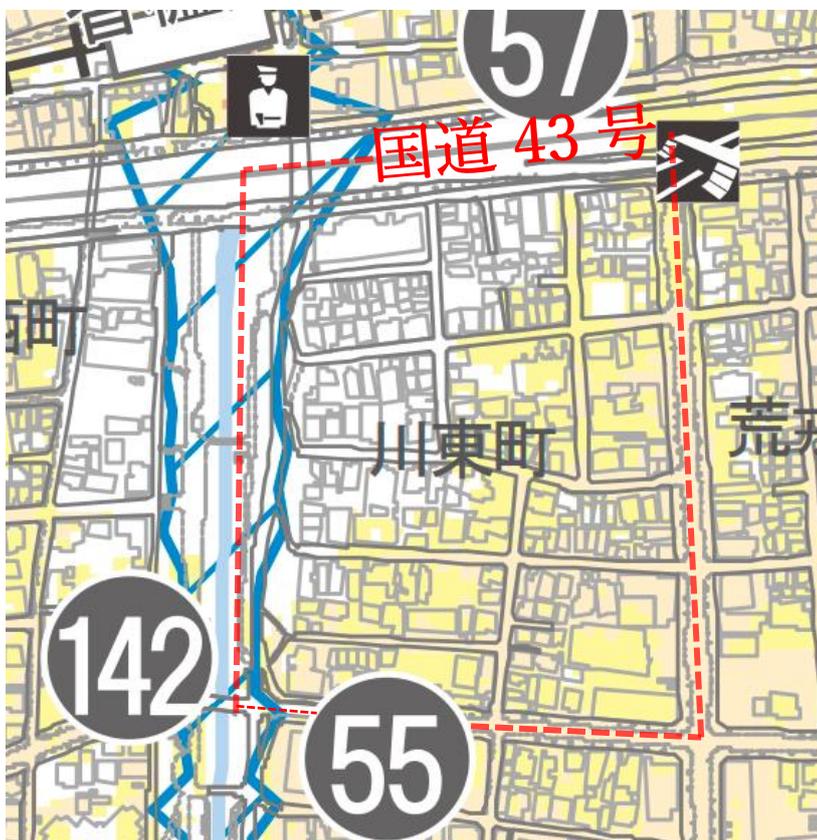
想定される風水害(雨・風による災害)について

1. 想定最大規模の降雨による夙川の洪水浸水想定

夙川流域への極めて急激な大雨(想定最大規模:下図参照)の際に、夙川の洪水が発生する可能性があります。



当地域は最大で1階浸水(浸水継続時間は12時間未満)の想定

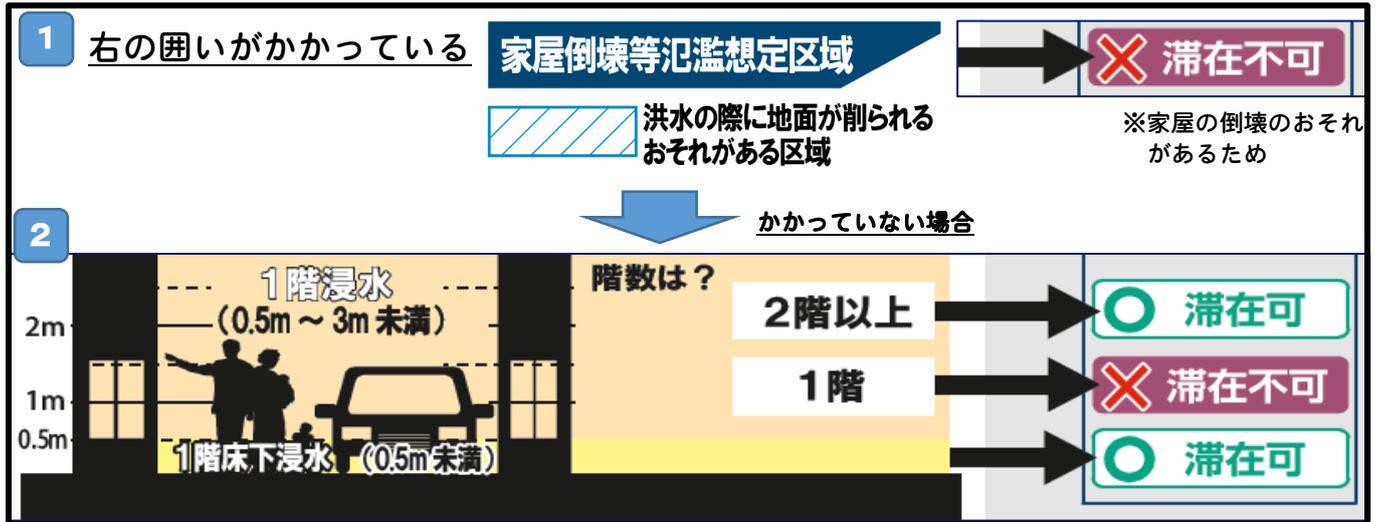


家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水の際に地面が削られるおそれがある区域

2.洪水からの避難行動

避難行動(自宅に留まれるかなど)の判定



川東町の基本的な避難の考え方 (夙川洪水)

急激な大雨が原因のため、既に外が危険な状態になっている可能性が高く、**外出しての移動や避難が危険となります。**

- ①滞在可なら、「在宅避難」つまり自宅等のなるべく上階に避難。
- ②滞在不可なら、最寄りの高い建物（知人宅等）に避難。

避難を助ける情報について

- 災害発生の危険が高まった場合、市から避難情報が発令されます。
- 「**避難情報**」が発令されたら、早めの行動を！

ここまでに行動してください

警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
避難情報	早期注意情報	大雨・洪水注意報など	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
みなさんの行動	最新情報に注意	避難行動を確認	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険直ちに安全確保
	気象庁が発表		市が発令		

※避難情報は災害の種類ごとに出されます。当地域は、土砂災害区域等には該当しませんので、土砂災害の避難情報で慌てて避難する必要はありません。

※避難情報等の情報収集手段 →P13 参照

動画で詳しく学べます！
「3分で分かる 避難情報」



3.想定最大規模の台風による高潮浸水想定

台風や発達した低気圧が接近した際に、高潮が発生する可能性があります。

想定し得る最大規模の台風による高潮について

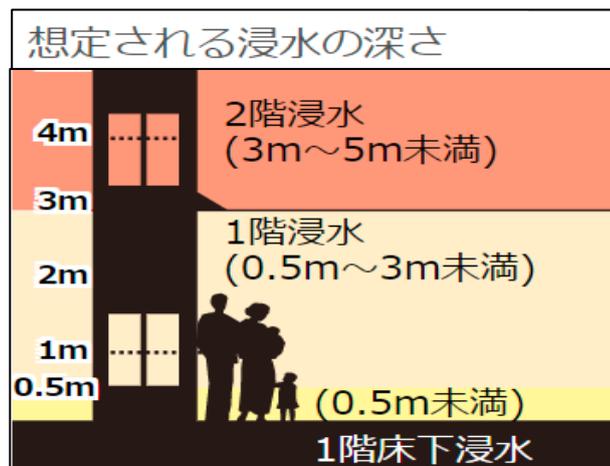
発生確率が500~4000年に1度の台風

想定条件

- 台風規模：日本に上陸した既往最大規模の台風である室戸台風と同等の910hPaとし、上陸しても勢力を保持し続ける。
- 台風の種類：伊勢湾台風と同等の73km/hとし一定のまま移動
- 海岸保全施設や河川管理施設である堤防等は最悪の事態を想定し、潮位(水位)や波が一定に達した段階で破壊する。
- 高潮による海岸からの浸水と同時に、河川からの洪水を考慮。
- 基準潮位：台風期の朔望平均満潮位 (T.P.+0.9m) に異常潮位 (+0.143m) を加えた T.P.+1.043m とする。



当地域は最大で2階浸水



西宮市防災マップ 高潮ハザードマップより抜粋

高潮の発生要因

高潮は、主に次の3つの要因で発生します。

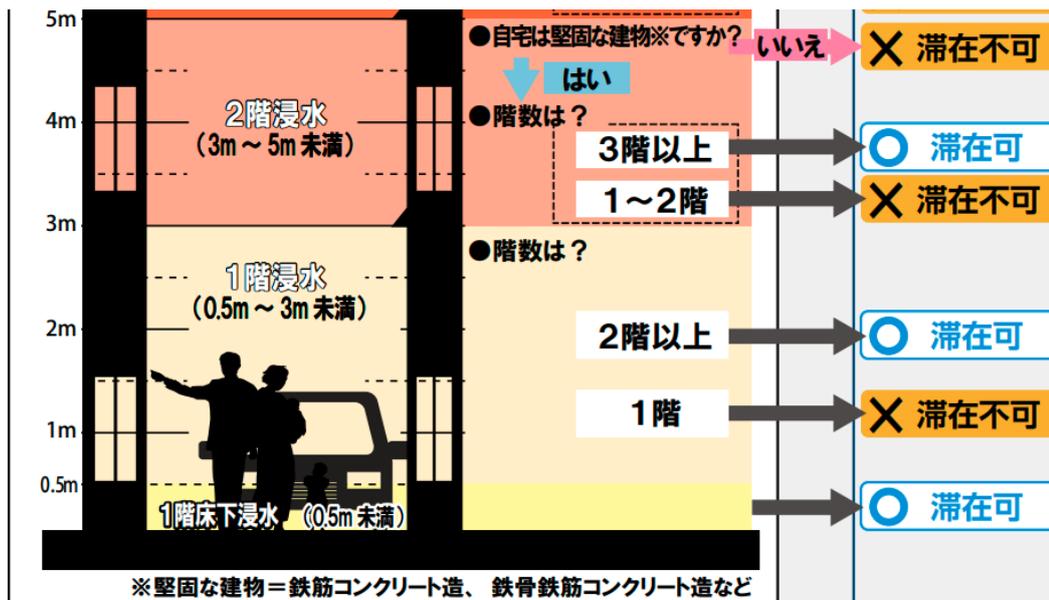
- ①気圧低下(台風)による海面の上昇
- ②風で押し寄せる波
- ③満潮時間との重なり

その時々状況に応じて高潮の規模は大きく変動します。

台風は、夏から秋ごろにかけて日本に接近しますので、その時期は、最新の台風情報等に注意してください。

4. 高潮からの避難行動

想定し得る最大規模の高潮からの避難方法



川東町の基本的な避難の考え方（高潮）

- 滞在可であれば、「在宅避難」つまり自宅等のなるべく上階に避難することも可。
- 滞在不可または滞在可でも早めの避難が可能であれば、立ち退き避難。
 - ①早めに浸水想定区域外や、安全を確保できる親戚・知人宅・ホテルへ避難。
 - ②それが難しい場合は、津波避難ビルなどへ避難。

その時々状況によって高潮の規模は大きく変動します。避難の判断にもつながるので、台風が近づいてきたら最新の情報を取るようにしましょう。

家の周りの安全対策

台風接近時には、強風に対する警戒も必要になります。
 気象情報に注意し、台風接近時には、必要な対策を忘れずに行いましょう。

- ☑ 屋根：めくれたり、壊れていないか確認する！
- ☑ 外壁：亀裂などは早めに補修しておく！
- ☑ 窓ガラス：シャッターや雨戸がちゃんとしまるか確認する！
 なければ、ガラス飛散防止のためカーテンを閉めておく！
 （ガラス飛散防止フィルムを貼っておく）
- ☑ ベランダ：物干し竿など飛びやすいものは室内へ移動する！
- ☑ 側溝・雨どい：ゴミや土砂を取り除き、水はけを良くする！



台風・大雨から避難するときの服装

避難するときは2人以上が原則です。ロープなどでお互いを結んで避難するとなおよいです。

既に浸水している場合は水路、溝やマンホールに注意が必要です。棒や傘などで確認しながら避難しましょう。

無理に避難するのはやめましょう。できるだけ浸水が始まる前に避難をし、水深がひざまであるようなら自宅等のなるべく上階に避難することも検討しましょう。



車での避難は大丈夫？



災害時の車での避難で気を付ける3つのポイント

- ・地震発生直後は渋滞に巻き込まれる可能性があるため、車で避難しない。
- ・大雨や台風の場合、**接近前の早い段階**なら車での避難も可。
- ・車中泊では、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒に気を付ける。

ペット(動物)のための防災

●鑑札、迷子札、写真を用意しておきましょう

大切なペットが迷子にならないためにも、普段から飼い主を探す手掛かりになるものをつけておくことが大切です。



●ペットフードや水、トイレ用品を用意しておきましょう

避難所へペットと一緒に避難する場合は、人とペットのスペースは別になり、ペットの世話は飼い主の責任になります。ペットのための防災用品を備えましょう。



●避難所ではペットケージ、リード、ハーネスを！

動物が苦手な方、アレルギーの方もいます。お互いに気持ちよく過ごすために、マナーを守りましょう。

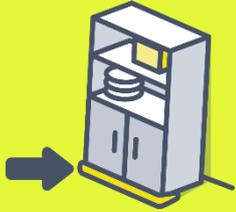
日頃の備えについて

1.家具の転倒防止対策や配置の工夫

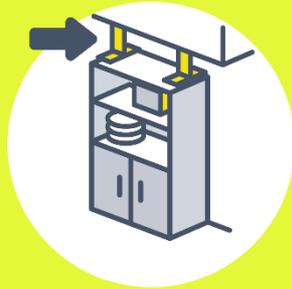
動画で詳しく学べます! →



- 地震で大型家具が倒れてくると、大怪我や最悪の場合は命の危険があります。
- 予め、ホームセンター等で器具を購入し、家具を固定しておきましょう。



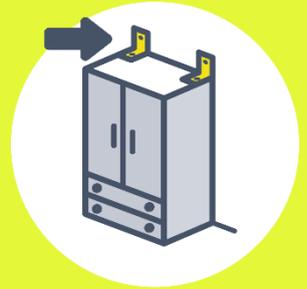
耐震マットなど



ポール式

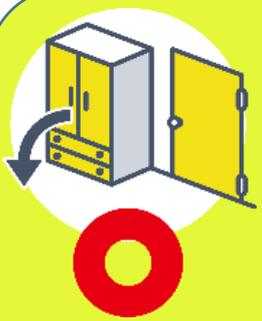


ベルト式

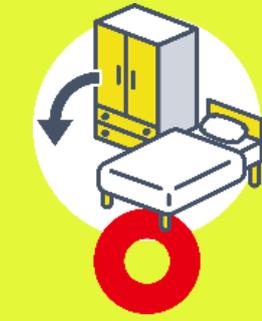


がた
L型金具

- 器具の取り付けが難しい場合は、家具を置く向き等だけでも工夫しましょう。



出口を塞がない向き



寝ている場所に倒れない向き



カーテンで飛散防止



2.地震発生時の出火防止対策

- 地震発生時の火災は被害を何倍にも大きくします。
- 消火器を準備し、使い方を確認しておくなど、準備しておきましょう。
- 立ち退き避難時は、ブレーカーを落としましょう。(通電火災防止)



動画で詳しく学べます!
「消火器の使い方」



3. 備蓄品の準備

災害時、支援物資はすぐには行き渡りませんし、ライフラインの寸断も考えられます。食料と飲料水は、**7日分準備**しておくことが推奨されています。

参考～ライフライン復旧の日数

ライフラインが9割程度復旧するまでの日数

(参考：「一般財団法人日本気象協会 HP トクする防災」より)

	阪神淡路大震災 1995年1月17日	東日本大震災 2011年3月11日
電気	2日	6日
水道	37日	24日
ガス	61日	34日



復旧は **電気>水道>ガス**
の順番

備蓄品の一例

品目	備考
食料 (7日分)	インスタント・レトルト食品、缶詰、栄養補助食品、お菓子 など ※他にも、カセットコンロ等の調理器具を備えていれば、 普段食べているほとんどのものが備蓄食になります。
飲料水 (7日分)	大人1人当たり1日3リットル(水だけではなく、野菜ジュース、 スポーツドリンクなど好きな飲み物も込みで)
トイレ用品	トイレ袋、トイレトーパー、汚物保管容器
燃料	カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料、電池 など
その他	モバイルバッテリー、ランタン、懐中電灯、ウェットティッシュ、 ラジオ、毛布、寝袋、食品用ラップフィルム、衛生用品、 ポリタンク(生活用水を入れて備蓄しておく) など

発災から数日は非常食に加え、普段食べているものも食べましょう。

(日持ちしないので冷蔵庫の中から優先的に)

そのためには、普段食べているものを多めに買って置き、使い切る前に買い足すなどの工夫をして、常に7日分の食料を確保しましょう。

また、調理をする際、熱源となるカセットコンロも忘れずに備えておきましょう。



※災害時の調理は、節水がポイントです。
災害食レシピはこちらから →

動画で詳しく学べます！
「ポリ袋調理を教えます！」



4.非常持出品の準備

- 立ち退き避難する場合に備えて、非常持出品を準備しましょう。
最低限必要な、飲食料、衣類、感染防止品などは必ず持参。



非常持出品の例

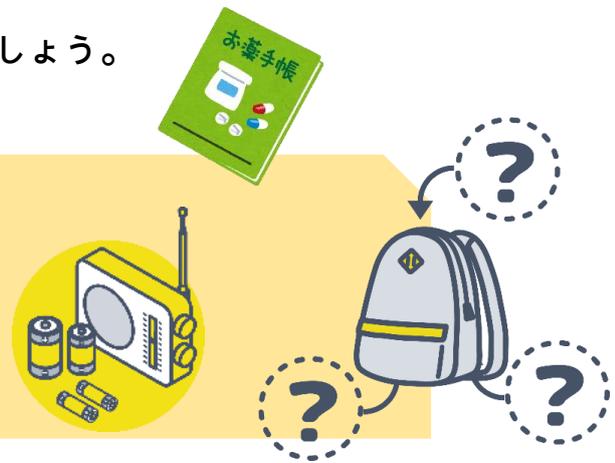
<p><input type="checkbox"/> 飲料 水</p> <p>重くなりすぎないように、最低限 (500mlペットボトル2〜3本程度)</p>	<p><input type="checkbox"/> 非常食</p> <p>食べやすく、 保存期間が長く、 調理せずに食べられるもの</p>	<p><input type="checkbox"/> 貴重品</p> <p>現金 (公衆電話用に10円玉)・ 通帳・印鑑・健康保険証・ 免許証の写しなど</p>	<p><input type="checkbox"/> 救急用品・医療品 感染防止品</p> <p>消毒薬・包帯・三角巾 マスク・体温計・スリッパなど</p>
<p>----- その他 -----</p>			
<p><input type="checkbox"/> ホイッスル (笛)</p> <p><input type="checkbox"/> <u>携帯電話のモバイルバッテリー</u></p> <p><input type="checkbox"/> 衣類 (上着、下着、靴下)</p> <p><input type="checkbox"/> 携帯ラジオ + 予備電池</p> <p><input type="checkbox"/> ビニール袋</p> <p><input type="checkbox"/> ローソク、ライター</p> <p><input type="checkbox"/> ティッシュペーパー</p> <p><input type="checkbox"/> 生理用品</p>	<p><input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん</p> <p><input type="checkbox"/> 厚手の手袋 (軍手)</p> <p><input type="checkbox"/> ウェットティッシュ</p> <p><input type="checkbox"/> 懐中電灯 + 予備電池</p> <p><input type="checkbox"/> タオル、ハンカチ</p> <p><input type="checkbox"/> 衛生用品</p> <p><input type="checkbox"/> 石鹸、ドライシャンプー</p> <p><input type="checkbox"/> 歯磨きセット</p>	<p><input type="checkbox"/> 底の丈夫な靴</p> <p><input type="checkbox"/> 雨具、防寒具、保温シート</p> <p><input type="checkbox"/> 携帯用カイロ</p> <p><input type="checkbox"/> 筆記用具</p> <p><input type="checkbox"/> 携帯用トイレ</p> <p><input type="checkbox"/> 簡易食器 (割り箸、紙皿)</p> <p><input type="checkbox"/> 携帯ナイフ、缶切り</p> <p><input type="checkbox"/> 家族やペットの写真</p>	

※ 自分や家族の状況に応じて必要な物は変わってきます。
世帯事情に応じたオリジナルの非常持出品を備えておきましょう。

例：持病のある方は**常備薬**や**お薬手帳**を備えておきましょう。

定期的に点検を行いましょ

- ✓ 賞味期限切れになっていないか
- ✓ ライトやラジオの電池は切れていないか
- ✓ 物品が不足していないか などを確認!



動画で詳しく学べます!
「5分で分かる 災害時の非常持出品」



5. 情報収集手段の確認

●災害時には複数の手段で情報が得られるよう、日頃から使い慣れておきましょう。

ホームページ

ポータル



西宮市ホームページ・西宮市防災ポータル

防災・災害情報を確認
することができます。

URL (ホームページ) <https://www.nishi.or.jp/>
(防災ポータル) <https://www.nishinomiya-bousai.jp/>



にしのみや防災ネット(メール)・ひょうご防災ネット(アプリ)

事前登録必要

災害時などに市から緊急情報
(避難所開設情報など)が配信
されます。

※「にしのみや防災ネット(メール)」はメー
ルアドレスの登録、「ひょうご防災ネッ
ト(アプリ)」はダウンロードが必要です。

難しい場合はわかる人に登録してもらおう!

登録案内 にしのみや防災ネット

メール nishinomiya@bosai.net

右のコードを読み取るか、
上記メールアドレスを直接
入力し空メールを送り返信
メールに記載の手順に従っ
て登録してください



登録案内 ひょうご防災ネット

URL <https://bosai.net/index2.do>

右のコードを読み取るか、上
記 URL へアクセスし、「スマー
トフォンアプリはこちら」の
ページに記載の手順に従って
ダウンロードしてください



緊急速報メール(エリアメール)

登録不要

設定が必要な場合もありますので、詳しくは
携帯電話会社各社にお問い合わせください

緊急情報が緊急速報メールに対応した携帯電話に配信されます。



SNS



Twitter
(ツイッター)

アカウント名 [nishinomiya_shi](#)



Facebook
(フェイスブック)

ページ名 西宮市役所



LINE@
(ライン)

アカウント名 西宮市
ID @miyakko



テレビの @ボタン

データ放送に対応しているテレビでは、「@ ボタン」を押す
ことで、気象情報や災害情報を確認することができます。

ch サンテレビ 3ch
NHK 1ch など



緊急告知ラジオ(さくら FM78.7MHz)

緊急時には自動で電源が入り、防災ス
ピーカー(防災行政無線)と同じ内容を
最大音量で聞くことができます。

販売場所: 市内各所

詳しくは
市のホームページでご確認ください



緊急告知ラジオ



防災スピーカー

大きな音声やサイレンで防災・避難情報等を市民
の皆様に伝達します。放送が聞こえたら、慌てず
にテレビやラジオからの情報収集に努め、落ち着
いて行動するように心がけてください。

防災スピーカーの放送内容を再確認

050-5578-2628 (通話料有料)

この番号に電話すると、放送してから24時間以内
の直近の放送内容を再確認することができます



災害時専用電話

地震・津波・洪水・高潮及び土砂災害等により発生した
災害に関する情報はこちらへ

0798-35-3456

動画で詳しく学べます!

「5分で分かる 災害時の情報収集」



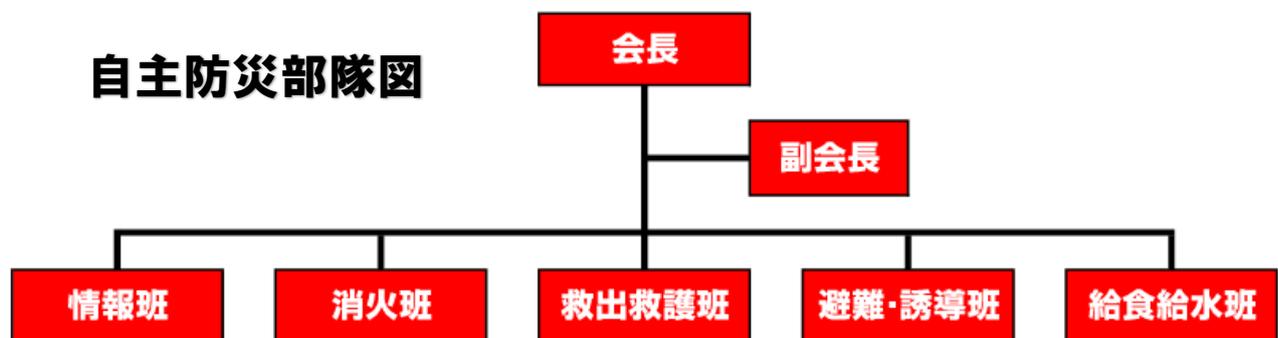
川東町の防災体制

川東町自治会自主防災会では大災害に備えて、様々なことに取り組みたいと考えています。ただ、大災害を乗り越えるためには、住民の皆様への助け合いが不可欠です。いざというときに、自分自身や大切な人を守るためにも、日ごろから当地域の防災訓練や地域活動に積極的に参加してください。

1. 災害時の活動

自主防災組織の編成

現状このような組織はできていませんが、大災害に備えて、組織づくりをしています。大災害時は役員だけではなく、避難所に集まった方々と共に組織、体制を確立しますので、皆様ご協力をお願いいたします。



情報班

- 声掛けをして回り、町内の被害状況を収集、伝達する
- 地域住民への災害防止広報
- 外部とのやり取り、調整



※火災発生や負傷者の情報、高齢者等の安否確認などを中心に

※その他、住民の皆様からの積極的な情報提供もお願いします。

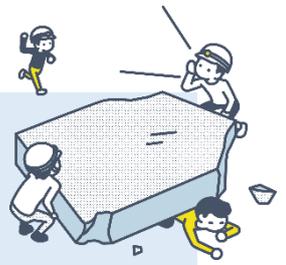
消火班

- ガス漏れや電気火災への注意喚起の呼びかけ
- ※避難の際には必ずブレーカーオフ（通電火災防止）
- 消火器などで初期消火活動
- ※消防（119）への通報



救出救護班

- 防災資機材を出し、活動の準備
- 情報班からの情報に基づき、救出に出動
※救出活動等、若くて力のある人は、是非協力してください。
- 救護用品を準備する
- 負傷者に応急手当（**骨折の固定や、止血、負傷部位の被覆**など）
- 重傷者を病院に搬送



避難誘導班

- 避難路の安全を確認したうえで、避難路を誘導
- 人員の点呼



給食給水班

- 他の団体と連携して食料の確保の準備をする
- 炊出しの実施
※日頃から各家庭で最低7日分の備蓄もお願いします。



2. 地域の井戸

災害時に水はとても重要です。川東町では災害時に水を提供することができる井戸があります。ただ、停電などで使えない可能性もあるため、しっかりと自分でも用意しておきましょう。

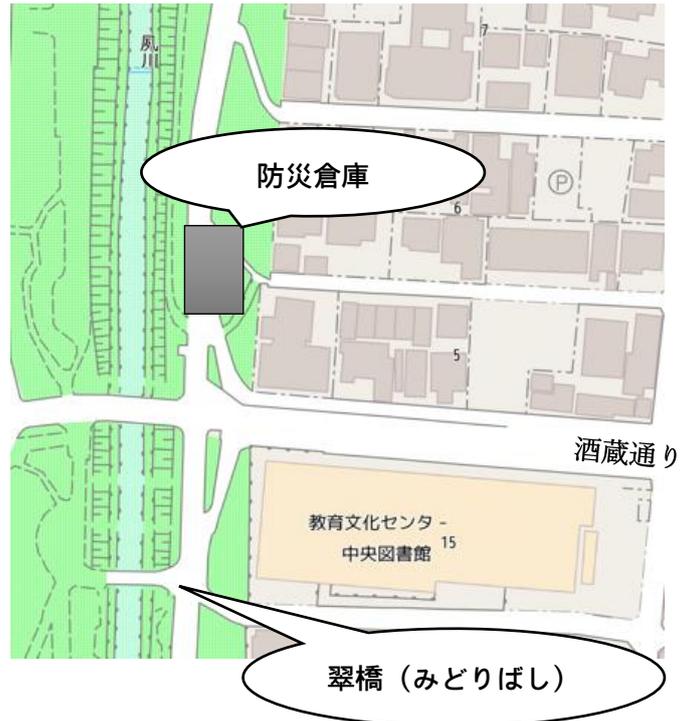


水質検査は行っていないため、飲むには適しません。
水はモーターでくみ上げているため、停電時は利用できません。
水を運ぶためのポリタンクや台車を用意して置きましょう。

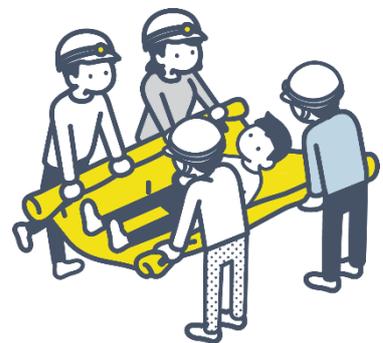
3.地域の防災倉庫

川東町自治会自主防災会では、防災倉庫を管理しています。
災害時には、住民の皆様と一緒に活用したいと考えていますので、倉庫の場所や、資機材についてご紹介します。

倉庫の所在地



保管されている資機材



保管されている資機材は、多くはありません。
各家庭で備えられるものは、各家庭で備えておきましょう！
例：防災ヘルメット、懐中電灯、救急用品など

マイ避難プラン

災害	避難行動	
南海トラフ地震 津波	避難場所 □ 在宅避難 □ その他（ ）	タイミング ※津波警報・大津波警報、避難指示
夙川洪水	避難場所 □ 在宅避難 □ その他（ ）	タイミング □ 高齢者等避難までに（警戒レベル3） □ 避難指示までに（警戒レベル4）
高潮	避難場所 □ 在宅避難 □ その他（ ）	タイミング □ 高齢者等避難までに（警戒レベル3） □ 避難指示までに（警戒レベル4）

いざというときの連絡先

西宮市災害対策本部

0798-35-3456 (災害時のみ)
FAX:0798-36-1990

警察署

(局番なし) 110

消防局

(局番なし) 119

ライフライン

水道 西宮市上下水道局
電話受付センター

受付時間

平日 (8:45 ~ 20:00)

土日祝 (8:45 ~ 17:30)

0798-32-2201

受付時間外 (宿直室)

0798-32-2271

電気 関西電力送配電 (株)

0800-777-3081

ガス 大阪ガス (株)

0120-7-19424

電話 NTT 西日本

一般電話からは

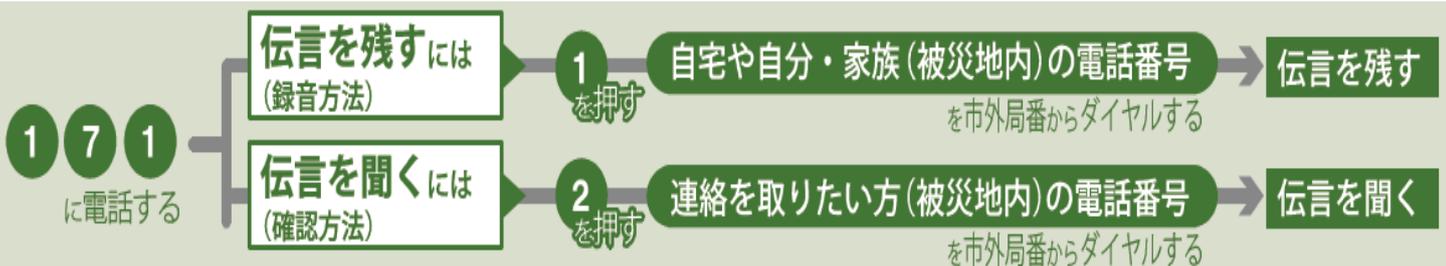
113

携帯電話・PHSからは

0120-444-113

災害用伝言ダイヤル 171

災害時には電話がつながりにくくなります。「災害用伝言ダイヤル171」に電話をかけるとガイダンスが流れ、ガイダンスに沿って伝言の録音や再生ができます。



※災害用伝言ダイヤルは固定電話だけではなく、お手持ちのケータイ・スマートフォンでも使用可能です。